



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5996(直通)
ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp> No. 235

第 3 回 定例会

再生紙を使用しています



東洲江庭園 (大谷田五丁目) 撮影 足立区議会写真部

平成21年第3回定例会 各議のあらまし

平成21年第3回定例会は、9月28日から10月23日までの会期26日間で開会しました。
今定例会では、区長から提出された議案31件、報告4件、諮問1件、議員提出議案3件及び区民のみなさんから提出された請願・陳情について審議しました。
結果については、本文記載のとおりです。

平成20年度決算を認定

区長が提出した平成20年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」「老人保健医療特別会計」の5会計の歳入歳出決算議案については、決算特別委員会を設置して審査しました。
同特別委員会では、10月7日から15日までに6日間審査を行いました。その結果、5会計歳入歳出決算は、いずれも認定すべきものとし、本会議においても認定の議決をしました。

平成21年度補正予算原案を可決

区長が提出した平成21年度「一般会計補正予算(第1号)」「国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」「介護保険特別会計補正予算(第1号)」「老人保健医療特別会計補正予算(第1号)」の4会計補正予算案は、全て原案のとおり可決しました。

その他の区長提出議案を可決

議員提出議案3件のうち、東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業などを推進するための安定的な財源の確保を求める意見書は全会一致により可決し、関係機関に提出しました。
また、他2件については、継続して審査することに決定しました。

人権擁護委員候補者の推薦を決定

人権擁護委員の任期満了に伴う候補者の推薦について、区長から意見を求められました。議会はこれに対し異議のないものと答申しました。
(推薦のあった人権擁護委員候補者氏名は5頁に掲載)

議員提出議案1件を可決

議員提出議案3件のうち、東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業などを推進するための安定的な財源の確保を求める意見書は全会一致により可決し、関係機関に提出しました。
また、他2件については、継続して審査することに決定しました。

請願・陳情を審査

区民のみなさんから提出された請願・陳情は、不採択3件、撤回1件で、他24件及び新規付託4件は、継続して審査することに決定しました。

議員(立候補予定者を含む。)が、選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀等の贈りものをする事は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則を以って禁止されています。
また、受け取った人も、罰せられます。
年賀状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことも禁止されています。
区民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

● 区政を問う(各会派代表・一般質問)	2頁
● 議決結果	5頁
● みなさんからの請願・陳情	5頁
● 意見の分かれた案件	6頁
● 委員会活動	6頁
● 決算特別委員会を設置	6頁
● 決算特別委員会各会派の討論(要旨)	7頁
● 国土交通省へ意見書を提出	8頁
● 平成20年度各会計決算額のグラフ	8頁

問

代表・一般質問を平成21年9月28日、29日、30日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

夢・希望のある足立を 目指して!!



自由民主党
ほつち 易隆 議員

政権交代がもたらす区政への影響はどうか

【問】今回の政権交代がもたらす区政への影響を、区長はどのように受け止めているのか。

また、今後の具体的な展開はまだ見えないが、現段階で懸念されることは何か。

【区長】廃止が明言されている後期高齢者医療制度は、区政に大きな影響があるものと考えます。また、懸念されることは、「子ども手当」等諸制度の変更や、竹の塚の鉄道立体化等の道路関係事業の財源がどのように確保されるのかという点と、制度変更に伴う電算システムの改修や新しい制度・施策の実施に向けた体制づくりと、これらの対応を短期間で行う必要がある等の点である。

今後増加する学生の住まいへの



支援策が必要だ

【問】今後増加する学生の住まいへの支援として、学生用アパートの建設に対する融資制度の創設や利子補給、敷金や更新料の免除等、思い切った施策も必要ではないか。

【都市整備】学生の住宅需要の動向と既存の住宅ストックについて地域の実情把握に努めつつ、具体策については、今後、関係団体と協議し検討していく。

千住地域の区有地の有効活用について伺う

【問】地価の下落等により、区有施設が思うように売却できない状況が続いている。千住地域にも長年に渡り空地があり、スポーツ施設等の区民要望もあるが、区有地の有効活用について具体的な検討はしているのか。

【資産管理】売却予定の未利用地を再精査し、新たな行政目的への活用も検討するとともに、千住地域の施設を含め「公有財産の活用構想」の見直しも行っていく。

その結果、行政目的のない未利用地は、市況好転まで一時凍結や利活用の方法も検討する。

千住常東地区をエコタウンへ

【問】区では、竹の塚と北千住でレンタサイクル事業を展開しているが、区の自転車利用計画とどうリンクするのか。

また、千住の常東地区を、エコタウンのモデル地域として、自転車専用レーンの設置等の事業を展開できないか。

【土木】レンタサイクル事業は、「足立区自転車利用環境整備計画」でも事業の提案をしており、具現化に向けて取り組んでいる。また、常東地区の自転車専用レーンの設置等は、まちづくりの動向を踏まえ検討していく。

地下鉄8号線の早期建設を関係自治体と合同で要望すべきだ

【問】地下鉄8号線の建設促進大会を区独自で毎年開催しているが、葛飾区や八潮市等の関係自治体と合同で開催し、都や国に強く要望すべきではないか。



【土木】今後、関係自治体との情報交換を密にしながら、合同促進大会の開催を協議していく。

また、都や国に対しても、引き続き強く要望していく。

協議会をつくり補助第258号線の早期整備を

【問】都と区で、補助第258号線早期整備協議会をつくり検討していくべきではないか。

また、平成23年度に完成する橋梁の費用対効果を高めるため、

綾瀬川から補助第140号線までの約300m区間について、補助第140号線のように用地買収方式での暫定整備を行ってはどうか。

【土木】これまでの協議の結果、都と区の協議会組織を設立し検討することで合意され、今年12月の立ち上げを目指している。

その中で、綾瀬川から補助第140号線までの暫定整備を含め、具体的な整備手法を検討していく。

特色あるみどりの公園づくりを地域と協働で進めるべきだ

政権交代に伴う区政への影響について



自由民主党
加藤 和明 議員

政権交代に伴う区政への影響はどの程度なのか

【問】暫定税率の廃止に伴う減収の程度と対応策を伺う。

また、最低賃金1千円化等に伴う一般財源への影響額と財源の手当てをどうするのか伺う。

【政策経営】暫定税率の廃止により、歳入が約20億円減額になる可能性がある。適債事業を精査のうえ、起債と基金の活用を図り、財源確保を検討していく。

また、一般財源への影響額は判明しているだけでも10億円を超えており、引き続き情報の収集に努め、対応を図っていく。

都区財政調整交付金の今後の見通しはどうか

【問】平成21年度の区別算定結果では、前年度の当初算定より

【問】地域住民が愛着を感じ見守り続けることが、樹木の良質な生長につながる。そのため、例えば、千住桜木町には桜の木というように地名にちなんだ樹木や、活動にちなんだ樹木を道路や公園等に植えてはどうか。

【みどり】今年度から荒川や神領堀を進めている「ふるさと桜」のような寄付制度の活用と併せ、地名の由来や地域要望を踏まえて、地名等にちなんだ植樹を進めていく。

【問】ガソリン税の暫定税率等が廃止された場合、竹ノ塚駅付

区が飛躍する絶好の機会を最大限生かすため、区の長所、短所を検証しつつ、都市間競争に耐える魅力を醸成していく。

幼児教育と若手教員育成に関する課題をどう解決していくのか

【問】①区教委は、幼児教育の課題をどう解決していくのか。また、②若手教員に対する研修の実施状況と、育てた教員が他区等へ異動してしまうことへの見解を伺う。

【学校教育】①「小一プロブレム」への対応が喫緊の課題と考えており、「子ども施策推進会議」を中心に施策の再構築を進めている。

【教育指導】②「あだち若手教員研鑽塾」等の取り組みにより、計画的・継続的に育成していく。区外への異動については、在職期間の延長や区内での異動も含め都教委に強く要請していく。

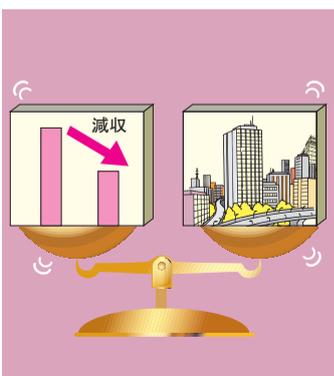
足立区のまちづくり・高齢者 施策の充実について問う!!



自由民主党
金田 正 議員

【問】ガソリン税の暫定税率等が廃止された場合、竹ノ塚駅付

が廃止された場合、竹ノ塚駅付



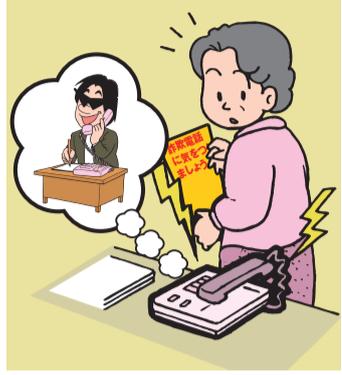
代表・一般質問

区政を

本会議の録画中継を

区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>



近鉄道立体化及び周辺地区まちづくりなどのような影響が考えられるか。

また、平成23年度の事業着手の見通しはどうか。

【鉄道立体】暫定税率廃止等により、現時点で未着手の鉄道立体化事業への影響を懸念せざるを得ない。今後、国の来年度予算編成状況を注視するとともに、議会の協力を得ながら、財源確保に万全を期していきたい。

また、環境影響評価と都市計画決定に向けた手続きを平成22年度末までに完了し、平成23年度中の事業認可取得を目指す。特別養護老人ホーム等施設整備を前倒しすべき

【問】介護機能の強化と雇用創出を果たすため、施設整備の前倒しを行うべきかどうか。

また、その施策をどう推進していくのか、実施状況等もあわせて伺う。

【福祉】第5期以降の計画を前倒しし、認知症対応型グループホーム4カ所と小規模多機能型居宅介護施設2カ所を新たに整備していく。

高齢者に対する詐欺対策を積極的に講じるべきである

【問】高齢者を狙った詐欺被害防止策に対し、どう取り組んでいるのか。

また、医師会や薬剤師会と協

力し、薬袋や電話機への注意喚起策等積極的な対策を講じられないか。

【危機管理】電話機の近くに貼る、振り込め詐欺撃退ステッカーを作成し、高齢者の利用が多

【ユニバーサルデザイン(UD)の環境整備を進めよ】

【問】①高齢者や障がい者等、誰もが利用しやすい生活環境の構築のため、UD推進条例や推進計画を定めるべきかどうか。

また、②区施設の更新時等に、UDを導入すべきかどうか。

【政策経営】①UDは全庁的に進めていくことが重要なため、各所管の取り組みが効果的、統一に行われるよう、まちづくり推進会議で条例化や計画化の検討を進めたいと考える。

【資産管理】②現在、「人と環境にやさしい建物づくり基準」の策定を進めており、区の標準仕様としてUDの考え方をこの基準に反映させ徹底していく。

【発達障がい者(児)への支援を】

【問】5歳児の発達健診を平成23年度に導入するとしているが、前倒しで実施すべきではないか。

また、構想が決定した「発達



子育て・健康・障がい者支援について

公明党
たきがみ 明 議員

足立区議会公明党

い住区センター等で配布した。また、後期高齢者医療制度対象者への通知に、悪徳商法及び詐欺防止ステッカーを同封した。薬袋を活用した注意喚起策については、今後検討していく。

障がい者支援センター」の機能及び今後の日程を伺う。

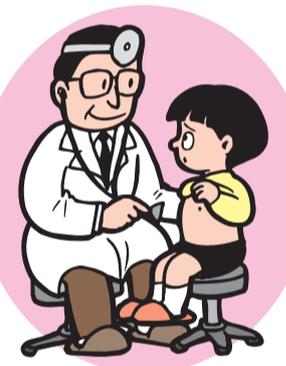
【福祉】平成22年度中には、モデル実施の成果や課題の整理等を検討していくが、早期に本格実施できるよう取り組んでいく。

また、本年度末を目前に、センターの機能や日程等を示した基本構想の策定を進めている。

【高次脳機能障がい者支援を問う】

【問】高次脳機能障がい者やその家族を支援する「地域活動支援センター」は、各利用者の実態に応じたさらなる支援をしていくべきと思うがどうか。

また、国や都の関係機関に働



きかける等、支援の拡充に取り組むべきではないか。

【福祉】実態に応じた支援は、センターを運営するNPO法人の意見を聞きながら適切に行う。また、今後も国や都に支援の充実を働きかけていく。

多様化する課題に迅速に対応し待機児童解消を図るべき

【問】本年8月現在、当区の認可保育園待機児童数は599人であり、早急に対応すべきだが伺う。

また、様々な雇用形態をとる現在の就労環境の中、幅広いサービス提供が求められる。そこで、短時間就労者向けの保育施設・制度を早急に実施すべきと思うがどうか。

【子ども】東京都認証保育所の整備や家庭福祉員の増員を中心に、空き店舗を利用した短時間就労の保護者を対象とした小規模保育施設の整備や、子育てホームサポート事業の月ぎめ利用制度の導入等を検討している。

女性と子どもの健康を守るべき

【問】子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の配布が決まったが、その実施内容を伺う。

また、ヒブワクチンの公費助成を早急に導入すべきだが伺う。

【衛生】検診の対象者に、クーポン券等を同封した案内を9月末に送付し、期間内に区内指定医療機関で受診していただく。ヒブワクチン接種は、来年4月の公費による一部助成の実施に向け検討していきたい。

【問】中小零細商店支援のため2㎡以下の袖看板・日よけについて全額免除すべきだが伺う。

【土木】足立区の実情に沿うよ



居宅介護の充実と若年者の就労支援について

公明党
淵上 隆 議員

う、占用面積を考慮しつつ、免一除や減額の方向で検討していく。

【居宅介護の充実を図るべき】

【問】要介護度の高い方や認知症の方への在宅支援をさらに拡充すべきだがどうか。

また、小規模多機能型居宅介護を在宅支援の中心に据えるべきである。まず中学校区に一つを目標に整備すべきだがどうか。

【福祉】基金等を活用し、グループホーム等を第4期計画に乗せして整備を図っていく。

また、小規模多機能型居宅介護の整備数は未だ不十分であり、今後も増設を計画している。その整備数は、3年ごとの事業計画策定の中で十分検討していく。

若年者への就労支援を進めよ

【問】若年者の非正規雇用が増える中、足立区の実情及び就労支援体制を伺う。

また、あだち若者サポートステーションでの就労支援強化や、東京しごとセンターの教育訓練機関と連携し、正社員になるための専門的スキル取得の支援メニューをPRしていく。

【産業経済】平成21年度版労働経済白書によれば、非正規雇用者は全体の1/3を占めている。足立区も同様の傾向であり、若年者のほとんどが正規雇用を目指しているものと考えている。

【問】8月の集中豪雨で、千住



災害対策等について

公明党
ゲリラ豪雨に備えよ
55555555 議員

地域は大きな被害を受けたが、当地域等の集中豪雨対策を伺う。

【土木】現在、千住地域において下水道管再構築事業が進み、千住関屋ポンプ所の建設事業に着手する等、雨水処理能力の向上が図られている。

同ポンプ所建設事業については、来年早々の工事契約後に地元住民に説明を行う予定である。

区は、事業主体である都下水道局に対し安全対策を徹底するとともに、騒音・振動等の生活環境への影響を最小限にするよう、強く申し入れをしていく。

【問】駅前滞留者の帰宅支援策を問う

【答】昨年1月、全国初の駅前滞留者対策訓練が北千住駅で行われたが、今後の計画等を伺う。



【危機管理】駅前滞留者を誘導

【問】昨年1月、全国初の駅前滞留者対策訓練が北千住駅で行われたが、今後の計画等を伺う。

【答】昨年1月、全国初の駅前滞留者対策訓練が北千住駅で行われたが、今後の計画等を伺う。

日本共産党足立区議団

いまこそ子育て、障がい者、若者、高齢者支援を本格的に



日本共産党 鈴木 けんいち 議員

待機児の早急な解消、保育所の増設を

【問】認可保育園の増設を進めよ。認証保育所設置は、区有地貸与に保証金・権利金を免除・軽減等し支援すべきかどうか。

【子ども】認可保育園の増設は、国の動向等を注視し、大規模再開発に併せた民設民営の誘致等を進めたい。

保証金はその性格上、免除・軽減はできない。また、権利金

の軽減等は考えていない。

【問】小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けてのガイドラインには「最もよい解決策を検討する」とあるが、これほど急激に、現場の声も聞かず、子どもたちをちりぢりにするところが最善の解決策といえるのか。

また、人口増の中、計画自体を見直すべきと考えるがどうか。

【教育長】保護者会等で説明を

行ってきたが、今後も、地域や保護者との協議を進めていく。

また、児童・生徒数は、ほぼ横ばいである。学区内の居住人数等を詳細に分析しながら、適正規模化を推進していく。

障がい者グループホーム・ケアホームの増設を求める

【問】都へ補助基準の引き上げを求めるとともに、区も補助制度を作り支援すること。

また、身体障がい者グループホームの設置等は、必要経費に見合う補助基準とし、障がい福祉計画に増設を加えること。

【福祉】都の補助上限額については、要望も検討するが、区の補助制度は考えていない。

また、身体障がい者グループホームの補助基準は、都の動向を見ていくとともに、設置等の目標値は、今後別途設定する。

地域に密着した生活福祉型の雇用と仕事確保を



日本共産党 伊藤 和彦 議員

生活密着型公共事業の拡充を

【問】生活密着型公共事業は、雇用の創出、区内産業の活性化に繋がる。地域密着の生活福祉型公共事業を重点にし、拡充することが必要かどうか。

【政策経営】公共事業については、中期財政計画等に基づき、計画的に取り組んでおり、認可保育所の整備等緊急性のある事業は、重点的に取り組んでいる。

また、人口増の中、計画自体を見直すべきと考えるがどうか。



官製ワーキングプアを増やすな

【問】①区は職員削減を続け、官製ワーキングプアを増やした若者の未来を閉ざしてきた行財政運営に責任を感じないか。

また②図書館の指定管理者制度を即時中止すべきかどうか。

【政策経営】①非常勤職員の雇用等は、今後も行政改革の柱として適切に運用する必要がある。

若者については、毎年23区最大規模の新規採用を行ってきた。

【生涯学習】②地域図書館12館での制度中止の考えはない。

足立区議会民主党

日暮里・舎人ライナーの駐輪場整備を

新田地域にコミュニティバスを



民主党 おくら 修平 議員

日暮里・舎人ライナー駅周辺の駐輪場整備を

【問】ライナー駅周辺の駐輪場整備は行政が取り組むべき。特に利用率100%を超えている谷在家駅西側、西新井大師西駅、扇大橋駅東側は、いつまでに何台分駐輪場を整備するのか。

【土木】谷在家駅西側は、東側の民営自転車駐車場への誘導を図る等、民営とのバランスを考慮し、検討する。

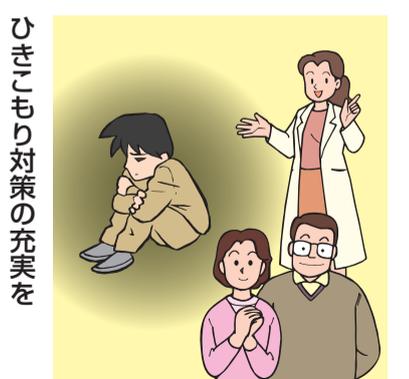
【問】新田地域におけるはるかぜ開通は、かねてから新田地域住民の願いである。昨年区は、循環バスの延伸を事業者に要望することだったが、その進捗状況について問う。

要望するとともに、居住者の減少により居住者の日常生活が損なわれているが、住宅困窮者の住宅確保のためにも、新規募集の実施を求めるべきではないか。

また、ミニ集会所を整え、単身高齢者等が安心して住める対策を講じるべきかどうか。

【都市整備】エレベーターは、URが設置する方針であり、居住者が継続管理区域へ移転後、順次空き家募集を行うと聞く。

また、ミニ集会所の整備等については、居住者の意見を十分に聞き丁寧に対応するよう、URに強く要望していく。



ひきこもり対策の充実を

【問】ひきこもり予防策として学校等と連携し、早期発見・対策に努めるべきではないか。

また、保護者のひきこもりに対する理解の向上と支援を強化すべきだが、併せて伺う。

【産業経済】区及びひきこもりセーフティネットの運営NPOと、学校等との連携が不可欠と考える。養護教諭等との情報交換、生徒・保護者へのセミナー、民生・児童委員への講演会等を実施し、連携強化を図っていく。

また、今年度は家族向けの配布物を検討し、来年度は中学校PTAへの講演会実施をさらに拡充していく予定である。

子どもたちの未来のために 安心・安全な足立区を目指して



民主党 長谷川 たかこ 議員

盗難・放置自転車を減らし、安全な街づくりを

【問】放置自転車を減らすために、区が独自で駐輪場等の整備をするだけでなく、駅周辺の民間企業等にも協力してもらい、ラック式の有料駐輪場を設置す

る等の対策はとれないか。

【土木】店舗等のラック式有料自転車駐輪場は、放置自転車対策として有効である。今後も民間企業に働きかけていく。放課後子ども教室の平日毎日実施の実現を

【問】区内で放課後子ども教室を実施している小学校は全体の約57%になるものの、その中には週一日しか実施していない学校もある。全小学校における平日毎日の実施にはどれくらいの期間が必要か。

【生涯学習】開催日数等は地域を中心とした実行委員会で決定している。今後は日数等の拡大を目指す。平日毎日開催実現に



ついては、実行委員会や学校と連携を図りながら、可能な限り早期実現に努める。

無 会 派

有名シェフの給食
1日で100万円!?

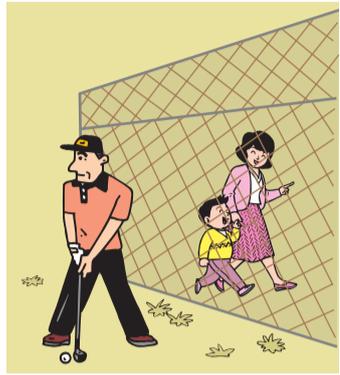


無会派
へんみ圭一 議員

「おいしい給食日本」事業の是非を問う

【問】おいしい給食事業で、1つの学校に有名シェフを1日だけ呼んで100万円という、このような予算の使い方は区民感覚とかけ離れているのではないか。費用対効果をどうとらえているのか。区にとって担当副参事を置くべき問題が他にあるのではないか。

【学校教育】一流の技や心構えを栄養士や調理師に伝える機会の設定、子どもたちとの交流会の開催、全校展開のために価格の工夫等を行い、一定の費用対効果は確保できている。担当副参事は必要と判断した。ゴルフ場の駐車場対策、安全対



策を行え
【問】都民ゴルフ場の利用者を増やすために、駐車場対策や、周辺の歩行者の安全を守るべく、国への要望、事業者との話し合い、区としてネットを設置する等の打球事故対策をすべき。
【みどり】駐車場対策、安全対策とも、事業者の責任・負担とする契約条件を継続できる事業者選定が必要である。

第3回
定例会での
議決結果

認定した議案

決 算

◇平成20年度足立区

一般会計歳入歳出決算
平成20年度足立区
国民健康保険特別会計歳入歳出決算
平成20年度足立区
介護保険特別会計歳入歳出決算
平成20年度足立区
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
平成20年度足立区
老人保健医療特別会計歳入歳出決算
(5会計決算の内容は8頁に掲載)

可決した議案

補正予算

◇平成21年度足立区一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ30億5千475万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2千363億5千475万7千円とするもの
◇平成21年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ24億7千893万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ86億2千675万6千円とするもの
◇平成21年度足立区介護保険特別会計補正予算(第1号)

請負契約

契約金額 15億2千239万5千円
相手方 似鳥・小倉・渡建
建設共同企業体

契約方法 条件付一般競争入札

◇西新井小学校改築電気設備工事請負契約
契約金額 1億7千745万円
相手方 三英・雄光
建設共同企業体

契約方法 条件付一般競争入札

◇中川小学校大規模改修工事請負契約
契約金額 10億7千100万円
相手方 白谷・堀真・高林
建設共同企業体

契約方法 条件付一般競争入札

条例の一部改正

◇足立区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
以上2議案について、延滞金の割合を軽減する期間を延長するもの
◇足立区墓地の設置に関する条例の一部を改正する条例
宗教法人法の改正に伴い、規定を整備するもの
◇足立区事務手数料条例の一部を改正する条例
租税特別措置法の改正に伴い、規定を整備するもの

請負契約

◇西新井小学校改築その他工事
契約金額 15億2千239万5千円
相手方 似鳥・小倉・渡建
建設共同企業体
契約方法 条件付一般競争入札
◇西新井小学校改築電気設備工事請負契約
契約金額 1億7千745万円
相手方 三英・雄光
建設共同企業体
契約方法 条件付一般競争入札
◇中川小学校大規模改修工事請負契約
契約金額 10億7千100万円
相手方 白谷・堀真・高林
建設共同企業体
契約方法 条件付一般競争入札

その他の議案

◇綾瀬地区自転車駐車場の整備等に関する協定
綾瀬地区の自転車駐車場の整備を財団法人自転車駐車場整備センターに行わせるもの(日本共産党足立区議団及び足立区議会民主党より反対の立場から討論あり)

報 告

◇請負代金請求訴訟に関する和解について
訴訟事件について和解するもの
◇損害賠償の額の決定
清掃車が前方走行中の車両に追突し、相手方に傷害及び相手方車両を破損し損害を与えた、損害賠償の額(97万7千211円)の決定 ほか4件
◇議決を得た契約の変更
雪見橋架替工事 ほか1件

諮 問

◇人権擁護委員候補者の推薦について
人権擁護委員として、矢萩恵一氏を法務大臣に推薦するため、区長から意見を求められました。議会はこれに対し、異議のないものと答申しました。

議員提出議案

可決したもの

◇東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業などを推進するための安定的な財源の確保を求める意見書
(内容は8頁に掲載)

継続審査としたもの

◇足立区公衆浴場入浴料の助成に関する条例
緊急経済対策の一環として公衆浴場の入浴に係る費用を助成することにより、区民福祉の向上に資するもの
◇足立区高齢者入院時負担軽減支援金の支給に関する条例
高齢者が入院したときに生じる入院費用等に係る支援金を支給することにより、高齢者の入院に伴う経済的負担の軽減を図るもの

みなさんからの
請願・陳情

不採択としたもの

◇歩行喫煙取締りについての陳情
陳情の趣旨に沿いかねる

◇資源の拾い回収に罰則規定を設ける条例改正を行わないよう求める陳情
陳情の趣旨に沿いかねる

◇足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて「(ガイドライン)に関する請願」請願の趣旨に沿いかねる



お知らせ

平成21年第4回
足立区議会定例会
《会期》12月2日(水)
~12月17日(木)

※会期は変更される場合があります

委員会活動

Table with columns: 委員会名, 日程, 主な内容. Lists activities of various committees like 総務委員会, 区民委員会, etc.

意見の分かれた案件(議案31件中7件)

○=賛成 ×=反対 △=継続

Table with columns: 件名, 会派名及び結果, 結果. Lists controversial cases like 平成20年度足立区一般会計歳入歳出決算.

特別区道路線の認定

Table with columns: 所在地, 幅員(m), 延長(m). Lists road projects like 鹿浜五丁目地内.

特別区道路線の変更

Table with columns: 所在地, 幅員(m), 延長(m). Lists road width changes like 小台二丁目地内.

特別区道路線の廃止

Table with columns: 所在地, 幅員(m), 延長(m). Lists road closure like 扇二丁目地内.

区管理通路路線の設置

Table with columns: 所在地, 幅員(m), 延長(m). Lists new paths like 扇三丁目地内.

平成20年度 決算特別委員会での各会計決算 審査と本会議の議決

決算特別委員会を設置

今定例会に区長から、平成20年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」...

決算の概要

平成20年度予算は、「こども・環境・治安」三つの鍵で拓こう、足立の未来」と銘打ち、

主な質疑事項

今回の委員会では、区内業者の契約受注機会の確保等地域経済の活性化と雇用促進に関する



システム設置費の補助、BDFの公用車への活用等、地球温暖化対策に向けた事業の取り組み

決算特別委員会での審査結果

10月15日に質疑を終了し、各会派の討論の後、採決しました。

本会議での議決結果

10月23日の本会議において、高山延之委員長が、本特別委員

その後採決を行い、委員会決定のとおり認定しました。

決算特別委員会委員 (23名)

- List of committee members: 高橋山, 延之, 美子, 隆子, 易子, 信子, 前野, 鈴木, 伊藤, 長谷川, 米山, 白石, 新井, 石井, 正輝, 英生, 守宏, 守則, 守茂, 守重, 守英, 守正, 石井, 白石.

75.1%と、前年度に比べ0.2ポイント

環境の分野では、太陽光発電

足立区議会公明党

一般会計	認	定
国民健康保険特別会計	認	定
介護保険特別会計	認	定
後期高齢者医療特別会計	認	定
老人保健医療特別会計	認	定

近藤区長初の予算編成は、特に「こども・環境・治安」に財政資源を集中的に配分した。歳出では、財政硬直化の一因である義務的経費比率の拡大が続き、23区の平均を超えている。全体を通して、歳入総額が比較的堅調だったこともあり、特別区債の年度末現在高は86億円減の91億円、積立金は166億円増の92億円となった。

区長のリーダーシップのもと、放課後子ども教室の拡大等の子ども施策、公園新設等の環境施策、まちの美化と防犯推進、区立小・中学校校舎の耐震化完了等を実現したことは評価する。

また、日暮里・舎人ライナーの利用者も一日平均5万5千人と順調に増加し、人口も66万人を超えたことは、インフラ整備



小泉 ひろし 委 員

が進展し、区の魅力が増したと言え。しかし、特別区税の減少と、社会保障関連費の増加、更には国の補正予算見直しで全てが定まらない中、今後は、ガソリン税の暫定税率廃止による財源・国庫補助金の減少で、竹ノ塚駅周辺の整備、自転車駐車場の整備拡大、ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりの推進、大規模災害発生を想定した対策強化、区民に親しまれる公園整備区関連施設が費やす公共料金等の一括管理と見直し等への取り組みを要望する。

最後に、本特別委員会において我が党各委員が指摘した事項を重く受け止め、提案・要望事項についても今後の予算に反映させ、区民感覚を大切に区政運営し、その実現に邁進するよう強く求める。

足立区議会自由民主党

一般会計	認	定
国民健康保険特別会計	認	定
介護保険特別会計	認	定
後期高齢者医療特別会計	認	定
老人保健医療特別会計	認	定

平成20年度予算は、近藤区長が自らの手で初めて編成した年間総合予算であった。また、行財政運営方針において、特に「こども施策・環境施策・治安回復施策」に的を絞る、集中的に行財政資源を配分した。厳しい環境の中、区が抱える課題等にどう取り組むかが問われた年でもあった。「魅力と個性のある美しい生活都市」「自立し支えあい安心して暮らせる安全都市」「人間力と文化力を育み活力あふれる文化都市」「自己進化する協働型自治体」の四つの分野別に予算編成がなされ、複数年度方式、包括予算制度により、各部が区民ニーズに的確に対応する姿勢が定着してきたと言える。

区税収入は前年度比2.6%、11



ほっち 易隆 委 員

とりわけ、都区財政調整交付金や特別区民税の減収が見込まれる中、税制改正の動きも予測を許さず、区財政はさらなる厳しさが増すと想定される。併せて、義務的経費の伸びが予想され、公共施設の更新需要等、引き続き財政の健全化に取り組む

要となった。待機児童の解消、小規模多機能施設等介護サービスの拡大、実、「はるかぜ」路線網の更なる拡大、自転車駐車場の整備大、ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりの推進、大規模災害発生を想定した対策強化、区民に親しまれる公園整備区関連施設が費やす公共料金等の一括管理と見直し等への取り組みを要望する。

最後に、本特別委員会において我が党各委員が指摘した事項を重く受け止め、提案・要望事項についても今後の予算に反映させ、区民感覚を大切に区政運営し、その実現に邁進するよう強く求める。

特別の 算員論 (要旨) 決委討

平成20年度は未曾有の経済危機到来で区民の生活と中小企業をどう支えるかが問われるとともに、増税・負担増の苦しみの中、後期高齢者医療制度が導入され怒りが沸騰。近藤区長における2年目の決算であると同時に区政運営の姿勢が問われた。基金は過去最高の992億円となった。一方、お金がないと言いつつながら接道条件が悪い土地を購入。本当に必要な土地のか疑問が残るとともに、東京藝術センターと竹の塚公共駐車場に金投入も明らかになった。



伊藤 和彦 委 員

昨年より生活が苦しいという区民は72.5%となり、暮らし、雇用、営業を守つてという、切実な声も聞かれた。また、技術職員不足を補うとされた「PM的手法」導入は学校改革を遅らせた。保育料は値上げ、障がい者巡回入浴は有料化、めらられるものではない。

また、技術職員不足を補うとされた「PM的手法」導入は学校改革を遅らせた。保育料は値上げ、障がい者巡回入浴は有料化、めらられるものではない。

また、技術職員不足を補うとされた「PM的手法」導入は学校改革を遅らせた。保育料は値上げ、障がい者巡回入浴は有料化、めらられるものではない。



長谷川 たかこ 委 員

平成20年度予算は、近藤区長になって初めての予算編成であり、「こども・環境・治安」を柱にしてきた。より良い足立区を残すための未来志向型事業の実施は、細かい問題はあるものの、全体として高く評価する。

しかし、依然として歳入は財政調整交付金に頼り、自主財源である特別区税は23区内でも低い水準にある等厳しい現実があり、構造的な問題として区政を脅かしている。

また「環境サミットin足立」について、当初予算の10倍の4千626万円にもなった問題もあり、議会審議の空洞化を招かぬよう、反省と検討をお願いしたい。さらに、ワンチャリ・ツーロツ

な区民の声が寄せられた。しかし、区の対策は不十分であると進める姿勢が弱く、区民サービスは低下、暮らし応援の姿勢に欠ける決算で、容認できない。介護保険は、利用抑制で多くの区民が困る一方、余剰金は一般会計に歳入する等の問題点を厳しく指摘してきた。しかし、基金を活用し、保険料値上げストップをしたことは評価できる。国民健康保険特別会計は、均等割で1千800円の値上げ。新たな負担を強いる後期高齢者医療制度が実施、特別会計が設置された。両会計に共通して、低所得者ほど保険料負担増の割合が高く、高額所得者ほど今までの国保料より大幅に負担が減り、所得再配分機能を弱め、到底認められないものではない。

I等で関わる民間事業者の十分な選定と監督。生活保護受給者や年金生活者も利用できる介護施設を支援し、「介護難民」を生み出さない工夫。カラーも含めたユニバーサルデザインの推進や相談等を受け付ける担当や窓口の設置。雇用創出を伴う事業に、生活保護受給者を積極的に採用するシステムの導入。ハラメントを明確に定義し、区職員の啓発活動を行うこと。中国残留帰国者のバックアップ。

この決算審査においては、深刻化する不景気が、区でも「格差」の問題となっており、子どもやお年寄り、障がい者の生活を脅かすという面が浮き彫りになった。これらの指摘に対し、今後の予算編成並びに執行、政策に反映することを強く要望する。

足立区議会民主党

一般会計	認	定
国民健康保険特別会計	認	定
介護保険特別会計	認	定
後期高齢者医療特別会計	認	定
老人保健医療特別会計	認	定

日本共産党足立区議団

一般会計	不	認
国民健康保険特別会計	不	認
介護保険特別会計	認	定
後期高齢者医療特別会計	不	認
老人保健医療特別会計	認	定

国土交通省へ意見書を提出

足立区議会は、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を行うための財源を安定的、継続的に確保するよう求めるため、平成21年10月26日、国土交通省を訪ね、意見書を提出しました。



国土交通副大臣に意見書を手渡す鴨下稔議長

「開かずの踏切」による事故の危険性と地域の分断を解消するには、抜本対策である鉄道立体化の早期実現が不可欠である。同時に足立区議会では、いち早く全議員で構成する「足立区議会鉄道高架化促進議員連盟」を、地域では「竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会」を設立した。これらの組織は、地

域住民、足立区、足立区議会からなる「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」を結成し、鉄道高架化の早期実現を目指し積極的に関係機関への要請活動を行ってきた。

この結果、国は、連続立体交差事業の採択案件を拡充し、平成19年度には新規着工準備箇所として採択され、平成21年6月には都市計画案説明会が開催されるなど、事業は異例ともいえるスピードで進捗している。

現在は、平成23年度の事業認可取得を目指し、詳細検討及び環境影響評価調査等都市計画決定に向けた手続きを進めている。

この間、足立区は従来都道府県等が事業主体であった連続立体交差事業に、区が事業主体となって取組むという重大な決断をし、今後の財政負担に備え基金を設置し、現在約115億円を積み立てるに至っている。

しかしながら、鉄道立体化には約500億円という多額の経費が必要であり、国や都の財政支援なくして事業実施は不可能な状況である。

よって足立区議会は、国会及び政府に対し、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の財源を安定的、継続的に確保するよう強く求めるものである。(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣あて) (10月23日議決)

東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業などを推進するための安定的な財源の確保を求める意見書

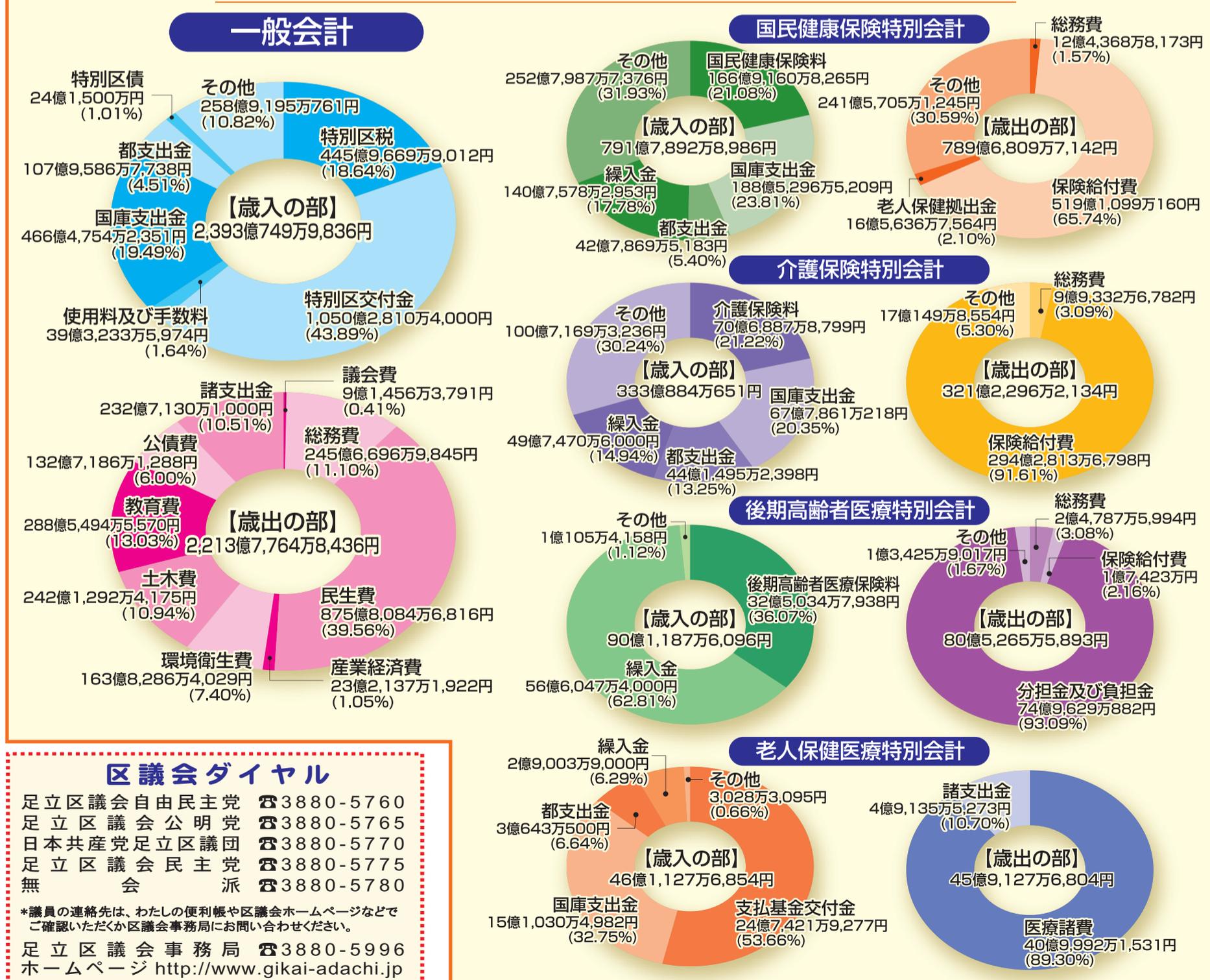
足立区内の東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内の第37号及び第38号踏切は、「開かずの踏切」としてかねてより懸念の踏切であったが、多額の事業費や法制度の問題などにより、鉄道立体化の実現には至らなかった。

このような状況下、第37号踏切において平成17年3月15日に4名の死傷者を出す痛ましい事故が発生した。

事故後、国、東京都、足立区及び東武鉄道株式会社は協力して、エレベーターつき歩道橋の新設などの緊急対策を講じ安全

要請活動の様子

平成20年度 各会計決算



区議会ダイアル
足立区議会自由民主党 ☎3880-5760
足立区議会公明党 ☎3880-5765
日本共産党足立区議団 ☎3880-5770
足立区議会民主党 ☎3880-5775
無党派 ☎3880-5780
*議員の連絡先は、わたしの便利帳や区議会ホームページなどでご確認ください。
足立区議会事務局 ☎3880-5996
ホームページ http://www.gikai-adachi.jp